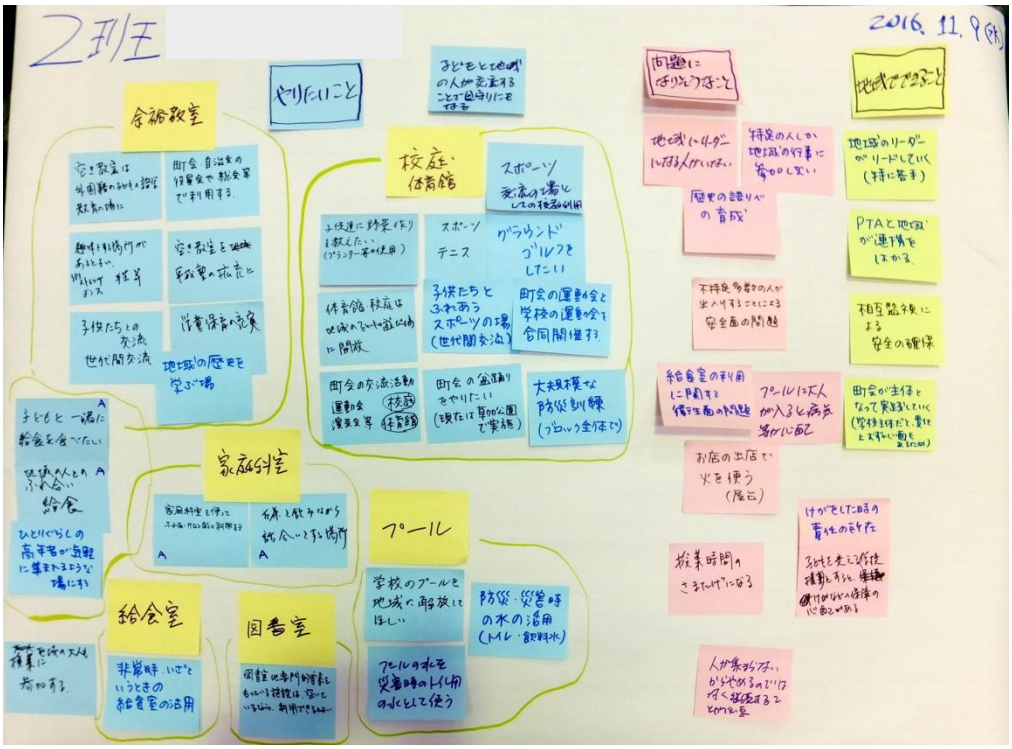
草加市公共施設等総合管理計画 第2回市民ワークショップ 2016/11/9 川柳文化センター

１班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
校庭	●地域 and 学校、一緒に防災(避難)訓練(D)	●学校は教育の場（地域に開くのは疑問） ●学校の耐震性（建物、ハード）今一信用していない（防災、災害） ●管理面心配、誰が？（安全面） ●子供の安全の確保が最大の課題 ●治安、防犯面 ●交通事故 ●怪我した時（やけどなど）責任 ●責任が誰にあるのか、事故が起きた時 ●小中学だとスペックが中途半端（校庭以外）大人に対応しているのは校庭ぐらい→限定的な使用に（高齢、校庭）すべき 【特に調理室】 ●学校の備品をどこまで使える（楽器、家庭科なべ） ●光熱費の負担（エアコン、電気代） ●運営費（材料）	●先生が出来ない事をカバーしてあげたい（休日、夏休み）とは思っているが ●部活の指導は無料“達人市民”に開放(スポーツ、訓練されている) ●市民講座レベル UP 版 ●正規以外の有料科目(英語/ビジネス/マイナースポーツ）の塾を運営（市民中心）(ビジネス的収益) 【子どものため/身につける】 ●交番機能（立ち寄り）を持たせる ●自己責任ではあるが、地域・運営側が見守る ●運営側（大人）（地域）が責任を持つ ●（市民サークル…役所）保険をかける ●食生活改善委員会、材料、備品 ●余裕教室使う時は、利用者（特に大人）がお金を支払う
家庭科室	●家庭科室で郷土料理を子供に伝えたい(B)		
体育館	●クラブチーム以外でのスポーツ指導(文化系)(C) ●公民館で身につけたものを地域（子ども）に還元(C) ●中学生のクラブ活動（卓球、バトミントン等）と公民館で活動している同様なサークルの共同（合同）練習など(C)		
いろんな教室	●放課後に子供達が安心して遊べる「教室」を地元の人々にお願いする ●遊び、スポーツ、勉強、公民館で行っている事→学校でやる		
音楽室	●音楽室で楽器を使った遊びを教えたい		
余裕教室	●（悩みなどの）いじめ？相談所（支援センターの役割）/ どこでも ●市民講座などの開催 / 各教室 ●夏休み等の宿題の手助け(B) ●病院（余裕教室）一次診療 ●地域の高齢者が参加できる保育（地域の近隣の小中の余裕教室）		
視聴覚室	●地域ラジオ局、コミュニティ FM（視聴覚室)、災害時に機能する(D)		
その他	●一人暮らしの老人が子供と遊べる保育(A・B) ●学童（小学校）だけでなく、近隣中学校でもできるのでは(A・C) ●学童と高齢者の交流会（サタデースクール等の時間)、昔遊び等(A) ●放課後の校庭での遊び / 多世代地域コミュニティ		

草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/11/9 川柳文化センター

２班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。



	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
余裕教室	●空き教室は外国籍の子どもへの語学教育の場に ●趣味をする場所があると良い、例）ストレッチ、ダンス、手芸等 ●子供たちとの交流、世代間交流 ●町会、自治会の役員会や総会等で利用する ●空き教室を平成塾の拡充に ●学童保育の充実／●地域の歴史を学ぶ場	●地域にリーダーになる人がいない ●特定の人しか地域の行事に参加しない ●歴史の語り部の育成 ●不特定多数の人が出入りすることによる安全面の問題 ●給食室の利用に関する衛生面の問題 ●プールに大人が入ると病気等が心配 ●お店の出店で火を使う（屋台） ●授業時間の妨げになる ●怪我をした時の責任の所在 ●子どもを支える（学校授業）とすると、怪我などの補償の心配がある ●人が集まらないならやめるのではなく、継続することが必要	●地域のリーダーがリードしていく（特に若手） ●PTA と地域が連携を図る ●相互監視による安全の確保 ●町会が主体となって実践していく（学校主体だと責任上難しい面もあるため）
校庭・体育館	●スポーツ交流の場としての校庭利用 ●子供達に野菜作りを教えたい（プランター等の使用） ●体育館・校庭は地域の子どもの遊び場に開放 ●町会の交流活動、運動会（校庭）、演芸会等（体育館） ●スポーツテニス ●子供たちとふれあう、スポーツの場（世代間交流） ●町会の盆踊りをやりたい（現在はそうか公園で実施） ●グラウンドゴルフをしたい ●町会の運動会と学校の運動会を合同開催する ●大規模な防災訓練（ブロック全体で）		
家庭科室	●家庭科室を使ってふれあいサロン的に利用する(A) ●お茶を飲みながら話合いをする場所(A)		
給食室	●非常時、いざという時の給食室の活用		
図書室	●図書室他専門的要素を持っている施設は空いているなら、利用できると良い		
プール	●学校のプールを地域に開放してほしい ●プールの水を災害時のトイレ用の水として使う ●防災、災害時の水の活用（トイレ、飲料水）		
その他	●子どもと地域の人が交流することで見守りにもなる ●子どもと一緒に給食を食べたい(A) ●地域の人とのふれ合い給食(A) ●一人暮らしの高年者が気軽に集まれるような場にする ●授業に地域の大人も参加する		

草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/11/9 川柳文化センター

３班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
校庭	●保育施設を作る、学校の敷地内であれば騒いでも大丈夫。保育ができることで、子どもが増えるのではないか（地域に人が入ってくる） ●年１回やっているグラウンドゴルフ（スポーツで交流）	●既存の保育所との関係や問題が起こるのではないか ●給食を一般の人が食べるのはハードルが高い ●給食をたくさん作らないと一般の人は食べられない ●物の破損、紛失の心配 ●学校の物を壊したりする場合がある ●空き教室を使う場合は先生が一緒にいないといけない ●不審者防犯 ●学校に変な人が入ってきたら困る ●不審者対策と開放の加減のバランスが難しい ●平日に学校を開放することに対するセキュリティの問題	【若い声を拾うなど、住んで良かったと思えるまちに】 ●地域で人口を増やす機運づくり→環境づくり→はじめの一歩 ●子どもと一緒に料理を教えたり、昔の話をしたりすることができる（教えられる） 【地域の安全を高める】 →犯罪者を寄り付かせない ●学校周辺や公園のパトロール ●登下校の見守りはすでに取り組んでいる 【学校と地域の調整が必要】 ●とりまとめ、調整役が必要になりそう
空き教室	●給食を食べてみたい。移動手段がない人も車で連れて多数で給食を食べたい(B)		
家庭科室	●コミセンの調理が狭い、学校の家庭科室で子どもと一緒に料理をする（子どもが主体） ●子ども達が作ってくれたものを食べたり、子ども達が食べさせたいという機会を作る(B) ●給食を食べたり、一緒に作ったり(B)		
体育館	●バドミントン（今は廃部？！） ●多世代サロン、食を通じたコミュニケーション(A) ●色々なグループやサロンが増えて、地域のコミュニティが増えてほしい(A) ●昔の話をしたり、子どもの勉強の話をしたり、世代間で話す場がほしい(A)		
その他	●コミセンより空間が広いのがメリット ●かつては校庭運営委員会があったが… ●昔は学校で大人が遊ぶコミュニティがあったが現在は無くなってしまっている ●コミセンだと行けないが学校だと行ける		

草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/11/9 川柳文化センター

５班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
プール	●夏場に学校のプールを夜間開放する事は可能か？ ●プール、釣り堀に。子どもができるように	●責任の所在を明らかにする必要（先生？団体のメンバー？） ●子供の安全、変な人入ってこないか ●パトロール活動も責任の所在が問題 ●管理コストの問題（何でもボランティアで済ませられない） ●設備を管理する人がいるかどうか ●担い手の高齢化、ボランティアの継続性の課題あり ●時間の制約が多すぎるのではないか ●多様な人たちが利用するため、障害者用トイレが必要	●学校と地域が話し合う必要がある ●地域住民が講師となって子どもたちに教える ●世代間交流(A)
被服室	●子ども向けに裁縫する（子どもが楽しめる）(A)		
校庭	●地域の運動会を学校の子どもと一緒に校庭を使ってできるといい ●校庭で小さな子供が楽しめるような場づくり（遊び場）		
教室	●いつでも使える教室、土日のみ開放できる教室を設定し、地域の人に利用していただく。高齢者、幼児を優先して ●ある高校では、日曜日に進研ゼミへ全教室を貸して、模擬テストを行っていた ●書道、絵画等、習い事をする事が多いが、学校の施設を開放してもらえないか？（教室、図工室） ●学童保育の場所の提供 ●元教師による（シルバー）ボランティアの講座（日曜、夜間）(A)		
図工室	●中学の工作室を使い、DIY 教室を開いたら良いのではないか(A) ●モノづくり教室、子供向けに図工室を活用、例：マイはし作り(A)		
理科室	●理科室、でんじろう先生呼んで、子供、親を呼ぶ(A)		
調理室	●学校の施設、調理室や体育館など料金を取って開放する ●男の料理をできれば		
全校	●いつでも使える教室が欲しい（平成塾の活動等） ●教室の提供（活動場所）をして欲しい ●避難訓練所開設訓練の定期的開放		

草加市公共施設等総合管理計画 第２回市民ワークショップ 2016/11/9 川柳文化センター

６班　※ふせんに書かれたグループ討議での意見をそのまま載せています。

	やりたいこと	問題になりそうなこと	地域でできること
専門教室	●理科室で楽しい実験 ●図工室で家具を作りたい ●音楽室でカラオケをやりたい ●学校利用する方に給食体験（草加市の給食は美味）	●学校の使用時間どの位取れる？・子供の時間・職員いない ●音楽室、子どもがいる時間は使用しづらい ●学校の子どもたち、先生方の考え思いを知り、困らないようにするにはどうしたら良いか ●学校は子どものためにあることがないがしろにされないよう ●学校の先生が忙しく余裕がない ●学校が地域に閉鎖的、連携が取れていない ●現に複合にしている学校から問題点を聞いて解決したい ●夜間グラウンド、ナイター照明の料金 ●設備の利用料金、無料化等 ●イベントがあっても子どもがゲーム、スマホばかりしている ●怪我をしてしまう等の責任	●時間外、地域で鍵を管理する ●子供達の下校時間のパトロール、見守り ●安全、地域で子どもが駆け込める場所を増やす ●地域の安全を点検（通学路等） ●子どもが悪い事をしていたら注意する ●地域で高齢者向けの健康づくりの企画をする ●地域ボランティアをしている人（見守り等）の施設利用料を割引く ●公民館（社会教育）の役割をもっとできるのでは？
運動	●校庭、保育園の園児が遊べる（午前中） ●校庭、グラウンドゴルフができる ●地域運動会（校庭） ●ラジオ体操、朝が早い？6時30分（校庭） ●みんなでラジオ体操をする（校庭） ●親子でスポーツをする ●チームでなく個人でもボール遊びができる場とする ●体育館で体を動かす ●プール、水泳教室		
余裕教室	●余裕教室でお茶を飲む、集まって ●老人語らいの場、自由に ●各種サークルの会議をしたい		
その他	●地域の方の新たな学びの場とする（生涯学習） ●地域のコミュニティの中心 ●学習は若さの秘訣 ●先生方と親の子育てについて地域と交流したい		